

徳田の歴史-18 寺院/神社

1/2

●寺院

現在は徳田地区の正念寺(真宗高田派)と畑地区の西光寺(天台宗真盛派)の2寺院となっている。

かつては徳田地区に慶岸寺(徳田東地区)、徳善寺(垣外地区)、栄正寺(横知地区)、地藏堂(西光寺)、西庵(現在の徳田集会所)の5寺院が散在していましたが慶岸寺、徳善寺、栄正寺は江戸時代(1603~1868年)終わり頃に廃止され正念寺に統合されています。尚地藏堂は今も畑の西光寺でお守りされ、西庵は現在の徳田集会所となり関係者の方々でお守りされています。



正念寺本堂

徳田地区



西光寺本堂

畑 地区

●神社**横道下神社(よこみちおりじんじゃ)**

平安時代(794～1185 年)にはこの名前で存在していたとの記録もあります。(延喜式神明帳、神社一覧より)

読み方についてはいろいろな説があるようですが一般的には横道下(した)神社と読んでいます。横知周辺の八反坪(字名)の南西域に鎮座されていたこの神社は大正 6 年に周辺の神社(八雲神社等)をまとめて合祀され徳田地区、垣外に移転され横道下神社として現在に至っています。江戸時代には横知村とも書かれこの地名が神社名の基となったようです。

主神は天忍穂耳命(あめのおしほみのみこと)の神様が祀られています。(日本神話に登場する神、天照大神の子孫)



横道下神社

徳田地区 垣外

鈴鹿市史、住職さんの話等参照

2017/11